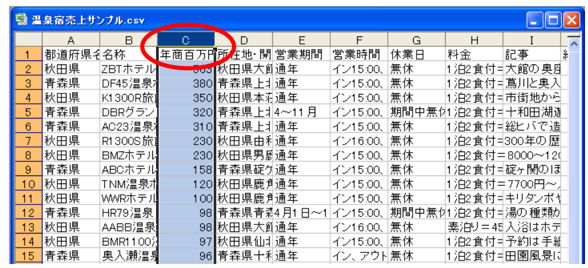
『ABC（クラス別）』分析結果を地図上に表示する方法

【地図上にグラフ表示させる方法】

A: ExcelでCSV形式のデータを事前に加工します（「列」にABC項目を追加します。）
下記では「年商」ベースにABCクラス別を行う事例を用いてご説明いたします。

①　「A」「B」「C」別に分ける数値データ項目を作成するため、「年商」の項目を数値の大きい順に並び替えます。



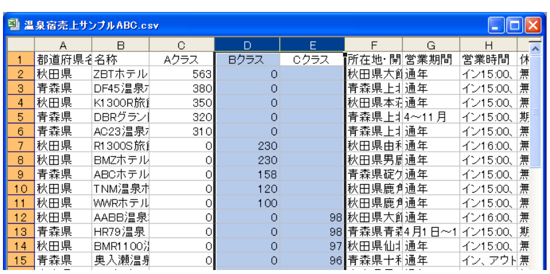


②　項目を2つ追加し、項目名称を「Aクラス」「Bクラス」「Cクラス」に変更します。





③　各「Aクラス」「Bクラス」「Cクラス」に基準数値（※1）をベースに「年商」の値を振り分けます。



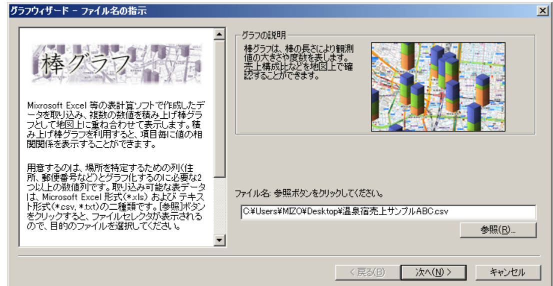
★操作手順：

「Aクラス」はそのままで、「Bクラス」「Cクラス」には数値を移動させ、空いた列には「 0 」を入力しておいてください。

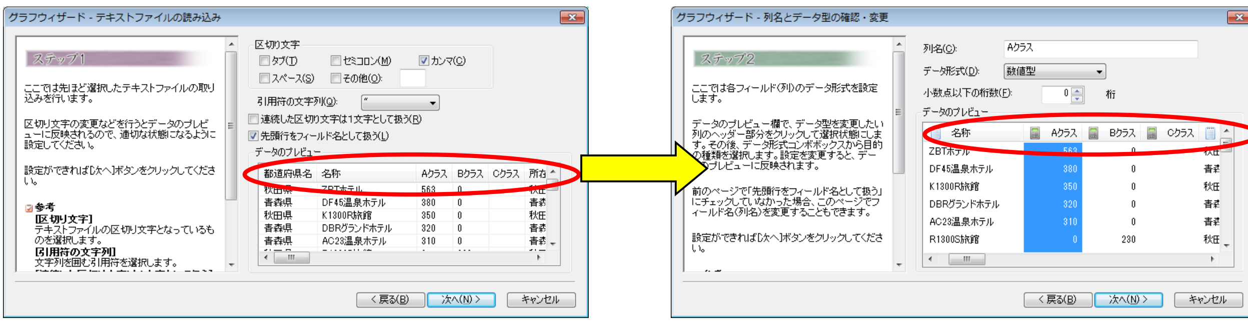
B： 振り分けたクラスを棒グラフで表示します

① 　スーパーマップル・デジタルを起動し、「取込」タブの「棒グラフ」をクリックして、先程修正したファイルを選択します。

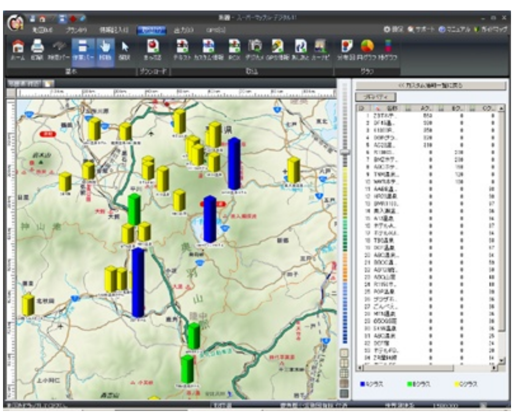




② 「データのプレビュー」で「Aクラス」「Bクラス」「Cクラス」が、表示されているか確認し「次へ」。
「Aクラス」「Bクラス」「Cクラス」の「項目」が、「数値型 」になっているか確認し「次へ」をクリックしてください。



③ その後、 表示されるウィザードに従い操作していただくと、地図上に「棒グラフ」がＡＢＣクラス別に表示されます。



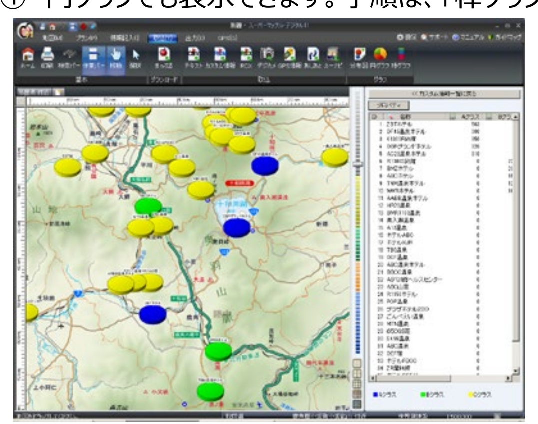
★参考

グラフ表示方法の変更は「ガイドマップ」のボタン ビジネス編 をクリックして表示されるページの 簡易マニュアル から「**各種グラフを作成する方法」**

を参照してください。

※同じＡクラスでも「棒グラフ」の大きさで違いがわかります。

④ 円グラフでも表示できます。手順は、「棒グラフ」表示と同じです。

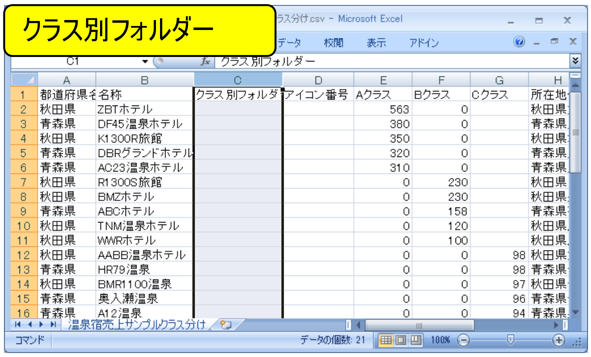


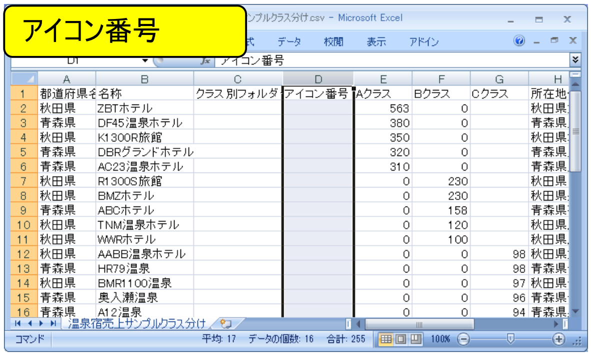
★参考： 出来高まで表示したい場合は「棒グラフ」、ABCクラスの判断のみでよいなら「円グラフ」を活用ください。

【地図上にテキスト+アイコン表示させる方法】

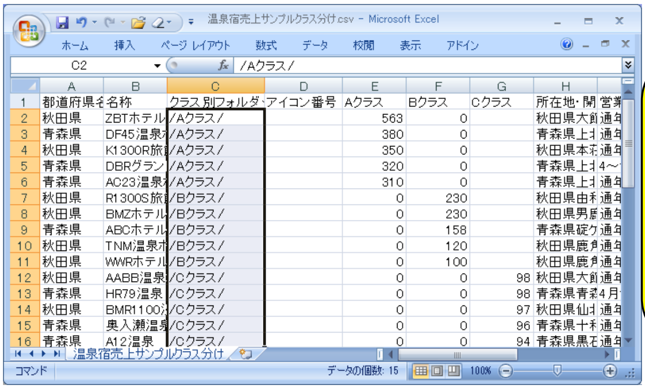
A：フォルダー別、アイコン別表示するためExcelでCSV形式のデータを加工します。

①　データの「列」に「クラス別フォルダー」「アイコン番号」の項目を追加してください。
　※項目名は、Excel表の**1行目**に設定します。





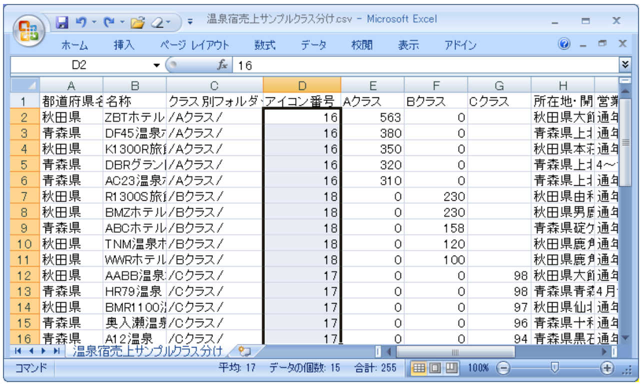
②　「クラス別フォルダー」項目に、値が振り分けられているクラスごとに、「/Aクラス/」「/Bクラス/」「/Cクラス/」のように半角スラッシュで囲まれたデータを入力します。



☆参考：
フォルダーとして入力するデータは「/Aクラス/」のように
半角スラッシュで文字を囲んで入力します。

/（半角）○○○（クラス分けする名称）/（半角）

③　「アイコン番号」の項目には、スーパーマップルで各クラス別に表示させたいデザインの「アイコンの番号」を「半角数字」で入力してください。

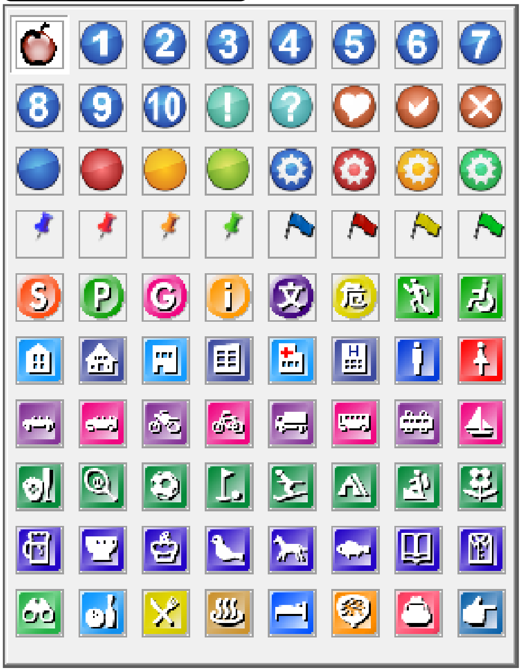


	A	B	C	D	E	F	G	H
1	都道府県名	名称	クラス別フォルダ	アイコン番号	Aクラス	Bクラス	Cクラス	所在地・開
2	秋田県	ZBTホテル	/Aクラス/	16	563	0		秋田県大館
3	青森県	DF45温泉	/Aクラス/	16	380	0		青森県上
4	秋田県	K1300R旅	/Aクラス/	16	350	0		秋田県本荘
5	青森県	DBRグラン	/Aクラス/	16	320	0		青森県上
6	青森県	AC23温泉	/Aクラス/	16	310	0		青森県上
7	秋田県	R1300S旅	/Bクラス/	18	0	230		秋田県由利
8	秋田県	BMZホテル	/Bクラス/	18	0	230		秋田県男鹿
9	青森県	ABCホテル	/Bクラス/	18	0	158		青森県碇ケ
10	秋田県	TNM温泉ホ	/Bクラス/	18	0	120		秋田県鹿角
11	秋田県	WWRホテル	/Bクラス/	18	0	100		秋田県鹿角
12	秋田県	AABB温泉	/Cクラス/	17	0	0	98	秋田県大館
13	青森県	HR79温泉	/Cクラス/	17	0	0	98	青森県青森
14	秋田県	BMR1100	/Cクラス/	17	0	0	97	秋田県仙北
15	青森県	奥入瀬温泉	/Cクラス/	17	0	0	96	青森県十和
16	青森県	A12温泉	/Cクラス/	17	0	0	94	青森県黒石

★「アイコン番号」は次のページを参照してください。

アイコン対応表

既定のアイコン表



アイコン対応番号

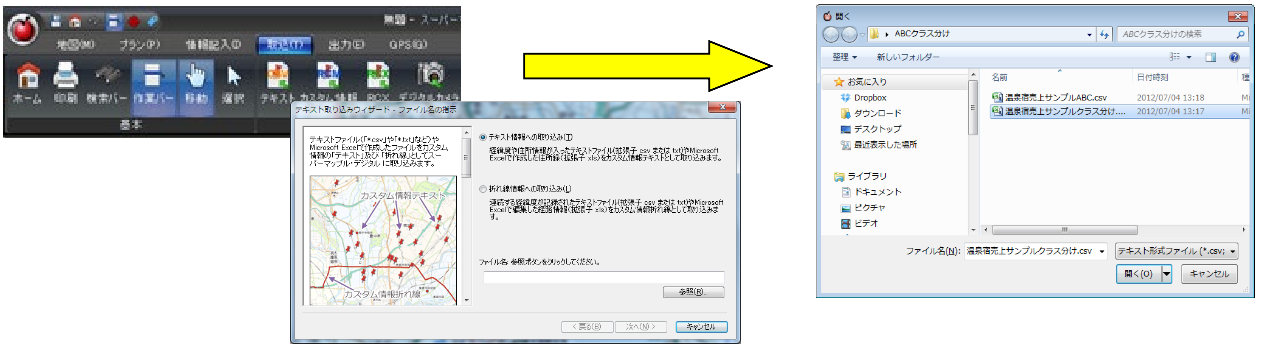
別フォルダー

0	1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30	31
32	33	34	35	36	37	38	39
40	41	42	43	44	45	46	47
48	49	50	51	52	53	54	55
56	57	58	59	60	61	62	63
64	65	66	67	68	69	70	71
72	73	74	75	76	77	78	79

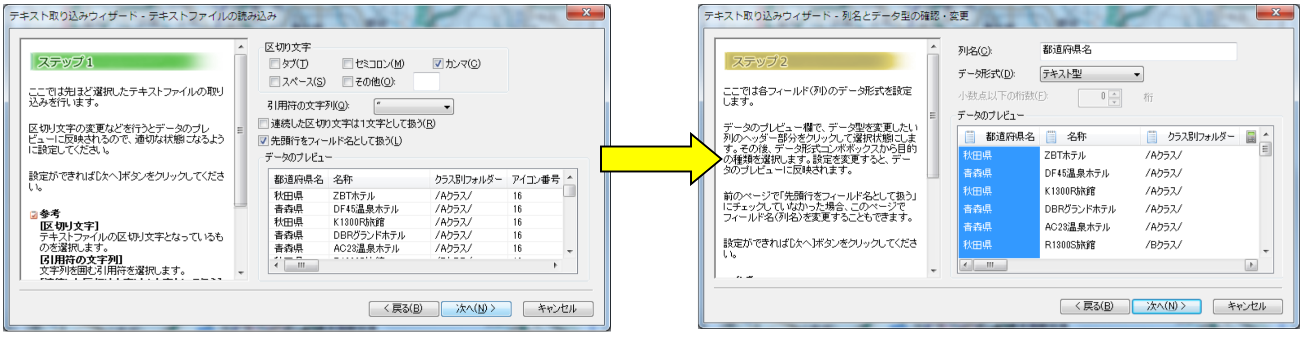
例：「Aクラス」に「青色の丸」を表示させたい場合は、「16」を、「Bクラス」を「黄色の丸」で表示したい場合は「18」を、Cクラスを「赤色の丸」で表示させたい場合は「17」を記載します。

B： クラス分けしたデータを地図上にフォルダー別、アイコン別に表示します。

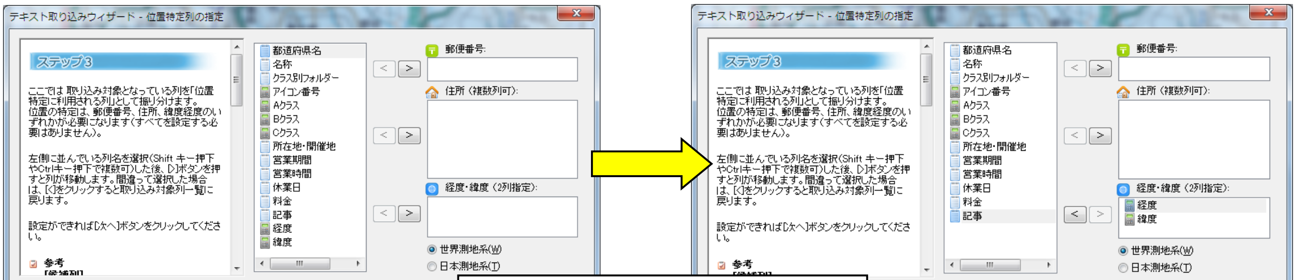
① スーパーマップル・デジタルを起動し、「取込」タブの「テキスト」をクリックし、「参照」をクリックします。
・地図に表示するため「クラス分け」するデータファイルを選択の「開く」→「次へ」をクリックします。



② ［ステップ1］の「データのプレビュー」で追加した項目名「クラス別フォルダー」「アイコン番号」が、データプレビューの最上位の項目に表示されているか確認し「次へ」で、［ステップ2］では、各列（項目名）のデータ形式を確認します。



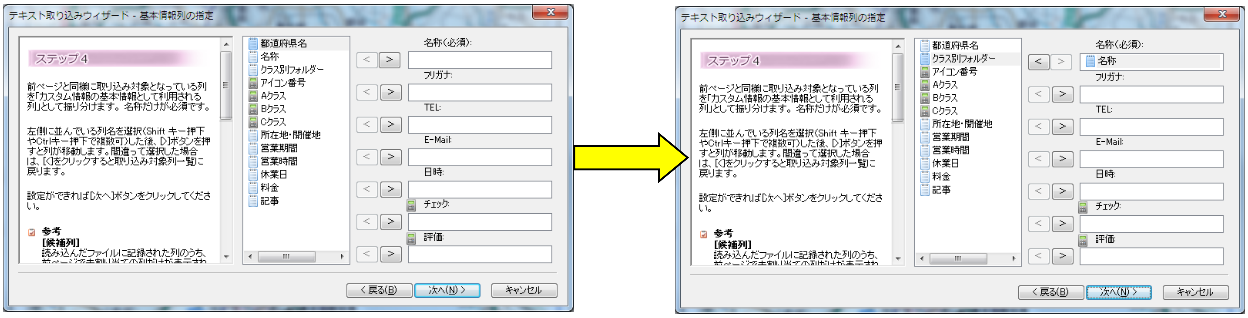
③ ［ステップ3］は、表示位置を特定する「郵便番号」「住所」「経度・緯度」で設定します。(「経度緯度での例」です。)



★設定された項目は移動します

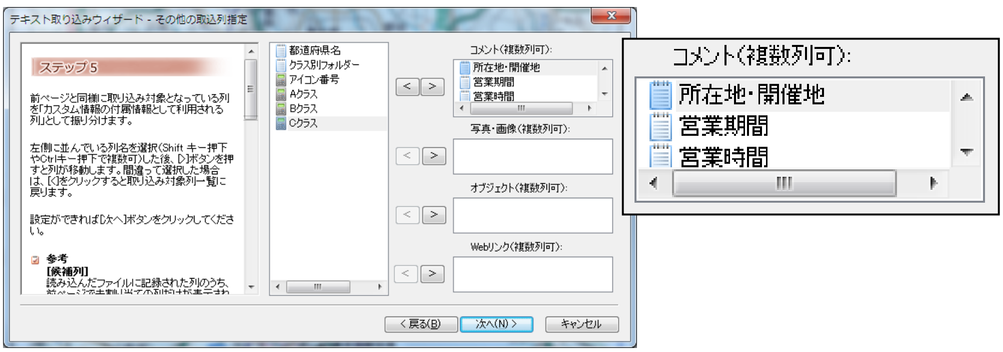
【🍎 **重要**】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

④［ステップ4］は、名称（必須）など取り込みに必要な基本的な要素を設定します

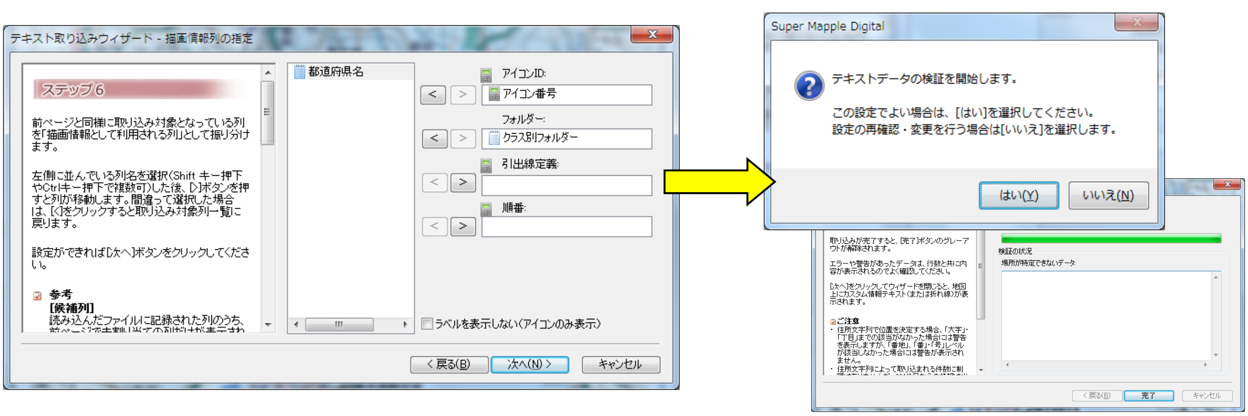


★取り込む情報の項目名が「取込欄」に無い場合は、次の 画面で「コメント」欄で取り込みます。

⑤［ステップ５］は、「取込欄」にない項目を「コメント」欄に取込みます。複数の項目を取り込むことができます



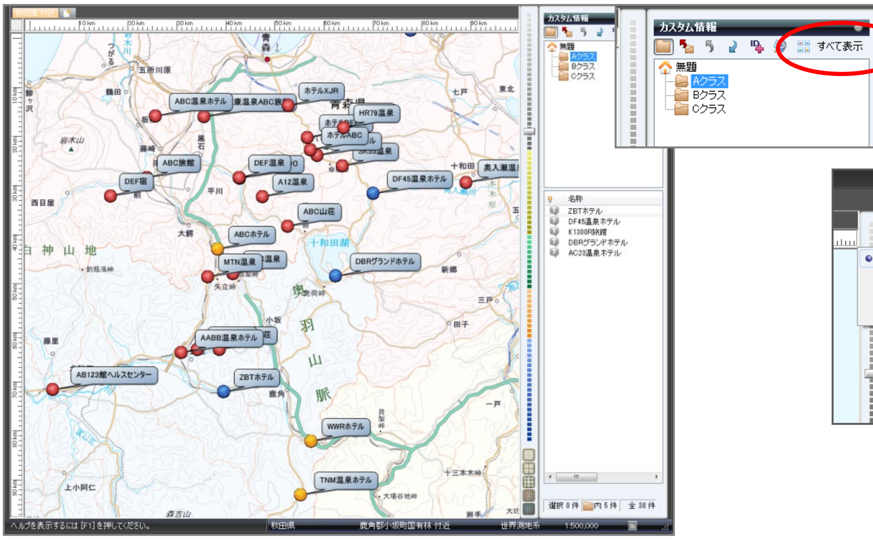
⑥［ステップ６］は、スーパーマップル・デジタルで作成した情報をCSV出力した情報を取り込み時に使用します。
・「アイコン番号」を「アイコンID」へ
・「クラス別フォルダー」を「フォルダー」へ
「次へ」→「はい」をクリックしますと、テキストデータを検証し、取り込みを開始します。「完了」をクリックします。

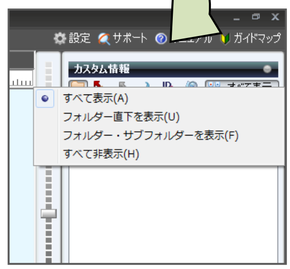


⑦ 地図上にABCクラス別が表示されます。

・画面に表示されていない場合は、カスタム情報欄でデータをWクリックし、「名称」をクリックしますと、地図が移動します。

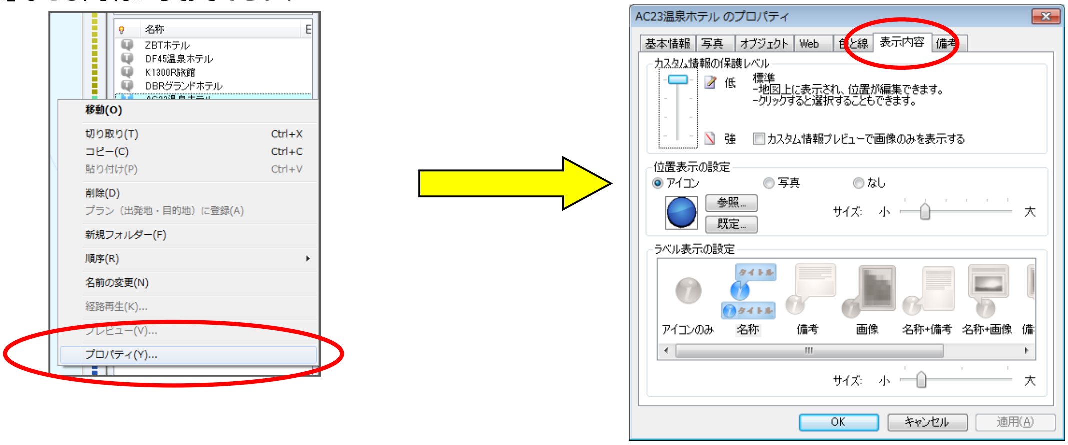
【ポイント：地図上の表示】
「すべて表示」をクリックし、各種の表示方法が選択できます。
例：/Aクラス/



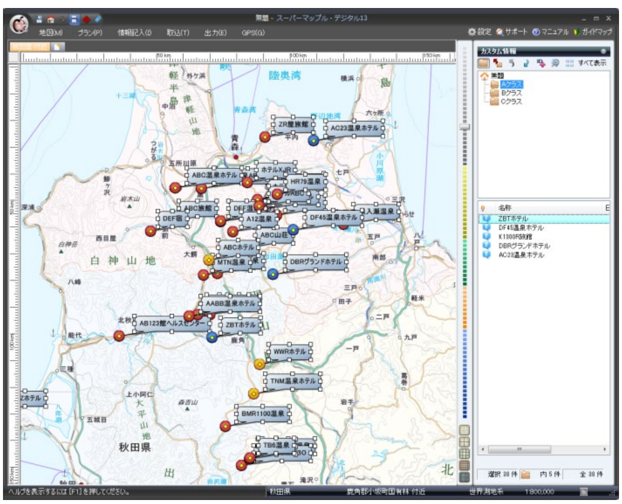


C： 表示変更の方法

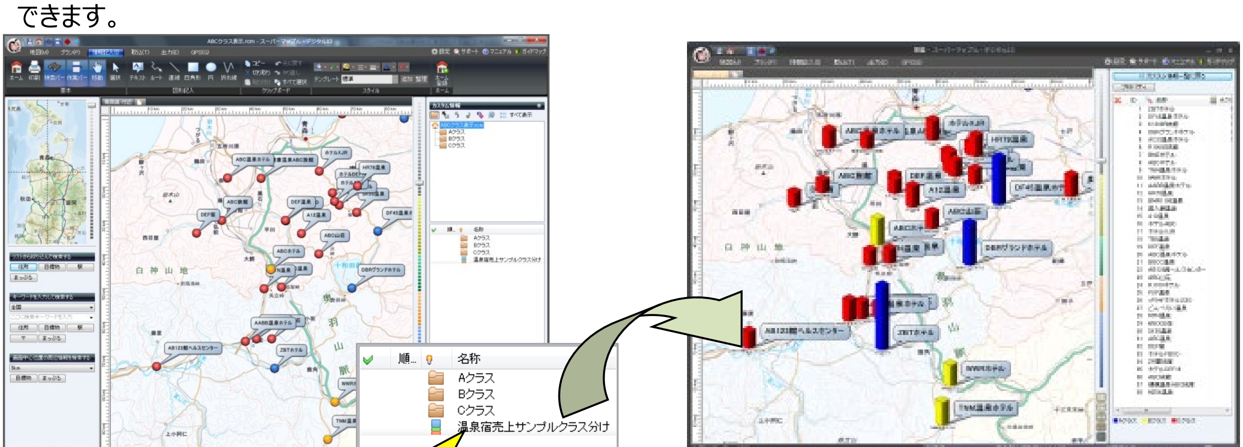
① 「情報記入」タブで「選択」モードに切り替え、地図上の表示変更したい「名称」の上で、「右クリック」し「プロパティ」を選択します。
「表示内容」タブを選択するとアイコンの大きさや、ラベル（名称）の大きさや表示内容などを変更することができます。
「色や線」なども同様に変更できます



② 一括で表示変更する場合は、「名称」をクリックした後、その名称の上で「Ctrl＋A」を押すと一括選択されるので、右クリックして「プロパティ」を開き変更を行ってください。



③ 【地図上にグラフ表示させる方法】の後、【地図上にテキスト+アイコン表示させる方法】を行うと、共に表示することができます。



2020年5月末日現在

注意事項
製品名及び社名などは、各社の商標または登録商標です。